

長沼町社会教育施設個別施設計画

令和3年3月

長沼町教育委員会

目次

1	策定の目的と位置付け	1
2	計画期間	1
3	標準使用年数の設定	1
4	対象施設及び劣化状況	
	(1) 劣化状況の評価の基準	2
	(2) 対象施設及び劣化状況	2
5	個別施設に係る方針	
	(1) 個別施設の今後の方針に係る用語の定義	2
	(2) 個別施設の方針	3
	(3) 対策の優先順位の考え方	3
	(4) 個別施設計画シート	4～18

長沼町社会教育施設

- 1 長沼町青少年会館
- 2 長沼町郷土資料1号館
- 3 長沼町郷土資料2号館
- 4 長沼町図書館
- 5 長沼町スポーツセンター
- 6 長沼町武道館
- 7 長沼町室内ゲートボール場
- 8 中央長沼水泳プール
- 9 北長沼水泳プール
- 10 南長沼水泳プール
- 11 長沼舞鶴水泳プール
- 12 長沼町舞鶴スポーツ公園
- 13 長沼町運動広場
- 14 長沼町総合公園（多目的広場・パークゴルフ場）
- 15 北長沼スキー場

1 策定の目的と位置付け

本計画は、平成29年3月に策定した「長沼町公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設等の機能を維持し、効率的で効果的な管理を行うことができるよう、長期的な視点で公共施設等の適切な規模とあり方を検討し、総合的かつ計画的な方向性を示すため社会教育施設に係る個別施設ごとの具体の対応方針を策定したものです。

また、本計画は、国のインフラ長寿命化基本計画で示された「個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）」に位置付けるものです。

2 計画期間

計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。なお、社会情勢等によって公共施設等を取り巻く環境は、変化し得るため、必要に応じて計画内容の見直しを行うこととします。

3 標準使用年数の設定

施設の寿命を想定する指標としては、法定耐用年数（注1）が存在しますが、実際には、法定耐用年数を超えて使用する場合が一般的で、そのため、今後の施設の維持、長寿命化等の目安として、建築物の耐久計画に関する考え方の範囲に基づき、計画建替え年数平均値（採用値）を次のとおりに設定し、個別施設の今後の方針を決める上での参考とします。

なお、設定の根拠として、（一社）日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考とし、平均値を採用します。

（注1：法定耐用年数とは、固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた年数。）

建築物の構造	建築物の耐久計画に関する考え方の範囲	計画建替え年数平均値（採用値）
RC造（鉄筋コンクリート造）	50年～80年	65年
SRC造（鉄骨鉄筋コンクリート造）		
S造（重量）（鉄骨造）		
CB造（コンクリートブロック造） SB造（セラミックブロック造は、CB造に準じる。）		
S造（軽量）（鉄骨造）	30年～50年	40年
W造（木造）		

4 対象施設及び劣化状況

本計画の対象施設は、(2)に掲げる施設であり、当該対象施設について、目視による劣化状況の評価を行いました。劣化状況の評価の基準は、(1)に記載のとおりです。

(1) 劣化状況の評価の基準

評価	劣化状況の基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

(2) 対象施設及び劣化状況

No.	施設名	施設概要								劣化状況									
		建築年度	改築年度	① 経過 年数	② 標準 使用 年数	③ ② - ①	延床面積 (㎡)	構造 種目	耐震化	地上 階	屋根 ・ 屋 上	外 壁	内 部 仕 上 げ	電 気 設 備	給 水 設 備	排 水 設 備	空 調 設 備	そ の 他 設 備	外 構
1	青少年会館	S44		51	65	14	453	R C	未実施	2	C	C	C	B	C	C		B	C
2	郷土資料1号館	M40		113	40	-73	38	W	未実施	1	D	D	D	D					C
3	郷土資料2号館	M45		108	40	-68	64	W	未実施	1	D	D	D	D					B
4	図書館	H4		28	65	37	1,281	R C	不要	1	B	B	B	B	C	C	C	B	B
5	スポーツセンター	S 53	H29	42	65	23	2,352	R C	実施	2	A	A	B	A	B	B	C	C	C
6	武道館	S 53		42	65	23	330	S	未実施	1	C	C	C	B	C	C		C	C
7	室内ゲートボール場	S 63		32	65	33	691	S	不要	1	A	B	B	B	C	C		C	B
8	中央長沼水泳プール	H18		14	65	51	1,086	CB・S	不要	1	B	B	B	B	B	B		B	B
9	北長沼水泳プール	S 48	H6	47	65	18	830	CB・S	不要	1	C	C	C	C	C	C		C	C
10	南長沼水泳プール	S 44	H8	51	65	14	830	CB・S	不要	1	C	C	C	C	C	C		C	C
11	舞鶴水泳プール	H2		30	65	35	500	CB・S	不要	1	C	C	C	C	C	C		C	C
12	舞鶴スポーツ公園	H10		22	65	43	26,442		不要	1	B	B	B	C	C	C		C	B
13	運動広場	S 60		35	65	30	70,932		不要	1	C	C	C	C	C	C		C	C
14	総合公園（多目的広場・パークゴルフ場）	H17		15	65	40	47,600		不要	1	B	B	B	B	C	C		C	B
15	北長沼スキー場	S 54		41	65	24	145,000		不要	1	C	C	C	C	C	C		C	C

5 個別施設に係る方針

(1) 個別施設の今後の方針に係る用語の定義

存続	施設を維持すること。
更新	施設の建替え（移転、統合及び複合化による建替えを含む。）をすること。
廃止	施設を廃止すること。
統合	類似施設の機能を、その施設に集約すること。
複合化	別の施設の異なる機能をその施設に集約すること。

(2) 個別施設の方針

個別施設に係る今後10年間の方針を次のとおりとします。なお、当該方針は、社会情勢等の変化や個別施設の劣化状況等の変化に応じて、適宜見直しながら取り組みます。

No.	施設名	今後10年間の方針	
1	青少年会館	廃止	老朽化が進行しており、利用は殆どなく、廃止を検討する。
2	郷土資料1号館	廃止	老朽化が著しいため、廃止を検討する。
3	郷土資料2号館	廃止	老朽化が著しいため、廃止を検討する。
4	図書館	存続	年間14,000人以上の利用があり、築28年であることから、当面、現施設を維持する。
5	スポーツセンター	存続	年間平均約50,000人の利用があり、改築後3年であることから、当面、現施設を維持する。
6	武道館	存続 又は 更新	年間3,500人以上の利用があり、築42年で老朽化が進行しており、存続又は建替えを検討する。
7	室内ゲートボール場	存続	年間1,700人以上の利用があり、築32年であることから、当面、現施設を維持する。
8	中央水泳プール	存続	年間7,400人以上の利用があり、築14年であることから、当面、現施設を維持する。
9	北長沼水泳プール	廃止	小学校統合により利用が少なくなることや維持管理費が増加しているため、廃止を検討する。
10	南長沼水泳プール	廃止	小学校統合により利用が少なくなることや維持管理費が増加しているため、廃止を検討する。
11	舞鶴水泳プール	廃止	小学校統合により利用が少なくなることや維持管理費が増加しているため、廃止を検討する。
12	舞鶴スポーツ公園	存続 又は 廃止	野球場・広場の利用はなく、パークゴルフ場は、無料開放で利用はあるが収入はなく、維持管理費が増加しており、存続又は廃止を検討する。
13	運動広場	存続	野球場・パークゴルフ場・多目的グラウンド・テニスコート・ジョキングコース・広場等の利用が、年間約20,000人以上の利用があり、当面、現施設を維持する。
14	総合公園	存続	パークゴルフ場・多目的広場・ランニングコースの利用が、年間約22,000人以上の利用があり、当面、現施設を維持する。
15	北長沼スキー場	存続	リフト搬送人数が年間426,000人以上の利用があり、当面、現施設を維持する。

(3) 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位の考え方は、施設の役割、機能、利用状況等を考慮し、改修が必要な箇所の優先順位を考えるものとします。

青少年会館と武道館は、渡り廊下で接続されており両施設で共有している部分があるので、改修・建替え・解体については、一体的に行うものとします。

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	青少年会館	延床面積	4 5 3 m ²
所在地	長沼町銀座南1丁目2番1号	建築年度	昭和44年度
構造種別	RC造（鉄筋コンクリート造）	階数	一部2階建て

2 計画期間内の施設の方針等

方針	廃止
説明	老朽化が進行しており、利用は殆どなく、廃止を検討する。 青少年会館は、武道館と渡り廊下で接続され、体育館の更衣室や用具室等を共有しているため、改修・解体については、武道館と一体的に行う。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

平成26年度に屋根の補修工事を実施したが、外壁、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。電気設備・給水設備・排水設備は、更新されておらず、耐用年数を大幅に超過している設備もあり、機能性の低下が生じている。そのため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

青少年の健全育成と情操の涵養に資するため昭和44年度に建設された。主に放課後支援事業（おいでOiD）や学童保育事業等を展開してきたが、令和2年度本稼働となった「児童センターぽっくろ」へ移管したことから、放課後児童健全育成施設としての役割はなくなっている。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、電気、給排水等の設備維持を優先とする。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	6,164	5,224	4,144	

※令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

7 施設の維持管理経費等

（単位：千円）

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	3,566	3,823	3,940	
運用コスト	1,147	1,018	972	
修繕コスト	51			
その他				
合計	4,764	4,841	4,912	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	0	0	0	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	郷土資料1号館	延床面積	38㎡
所在地	長沼町東6線北4番地	建築年度	明治40年度
構造種別	W造(木造)	階数	平屋建て

2 計画期間内の施設の方針等

方針	廃止
説明	老朽化が著しいため、廃止を検討する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

老朽化等により壁、扉等が破損している。施設の中には郷土資料が保管されている。
--

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

明治40年5月に市街地の商店に建立され、文化遺産として昭和47年に町へ寄贈され、郷土資料館として活用されていた。
--

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持を優先とする。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	0	0	0	

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	10	10	10	
修繕コスト				
その他				
合計	10	10	10	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	0	0	0	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	郷土資料2号館	延床面積	64m ²
所在地	長沼町東6線北4番地	建築年度	明治末期
構造種別	W造(木造)	階数	平屋建て

2 計画期間内の施設の方針等

方針	廃止
説明	老朽化が著しいため、廃止を検討する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

老朽化等により外壁が破損している。施設の中には郷土資料が保管されている。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

幌内地区で明治末期に建立され、本町最古の農家土蔵で昭和47年に町へ寄贈され、郷土資料館として活用されていた。
--

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持を優先とする。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	0	0	0	

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト				
運用コスト	16	16	16	
修繕コスト				
その他				
合計	16	16	16	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	0	0	0	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	図書館	延床面積	1, 281㎡
所在地	長沼町中央南2丁目3番3号	建築年度	平成4年度
構造種別	RC造（鉄筋コンクリート造）	階数	平屋建て

2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続
説明	年間14,000人以上の利用があり、築28年であることから、当面、現施設を維持する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

平成24年度には屋根の防水補修及び外壁の一部塗装工事を実施したが、外壁、内部仕上げには部分的に劣化が見られる。電気設備・給水設備・排水設備は、更新されておらず、耐用年数を超過している設備もあり、機能性の低下が生じている。そのため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

本町における教育の発展と文化の向上に寄与するため平成4年度に建設された。町民の読書活動の拠点、また文化と情報の発信基地としての機能を有しており、今後も利用が見込まれる。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水等の設備維持補修を優先とする。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	17,916	15,913	14,615	

※令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	3,213	3,632	3,582	
運用コスト	4,662	4,985	4,631	
修繕コスト	1,911	1,424	1,126	
その他				
合計	9,786	10,041	9,339	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	11	35	15	複写機使用料

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	スポーツセンター	延床面積	2,352㎡
所在地	長沼町中央南2丁目1番1号	建築年度	昭和53年度
構造種別	RC造（鉄筋コンクリート造）	階数	一部3階建て

2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続
説明	年間平均約50,000人の利用があり、改築後3年であることから、当面、現施設を維持する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

平成29年度に耐震改修、アリーナ床・屋根・窓、照明設備の改修、外壁の改修等の大規模改修を行った。しかし給水設備・排水設備は、更新されておらず、耐用年数を超過している設備もあり、機能性の低下が生じている。そのため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

町民のスポーツ振興を図り、心身の健全な発達に寄与するため昭和53年度に建設された。主にスポーツ教室、体力測定、少年団活動・一般団体活動の練習や大会に利用されていて、今後も多くの利用が見込まれている。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水等の設備維持補修を優先とする。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	26,996	49,594	43,507	

※平成29年度は大規模改修工事、令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	9,559	11,839	12,004	
運用コスト	7,107	7,820	7,077	
修繕コスト	1,009	1,751	1,479	
その他				
合計	17,675	21,410	20,560	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	0	184	98	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	武道館	延床面積	330㎡
所在地	長沼町銀座南1丁目2番1号	建築年度	昭和53年度
構造種別	S造(鉄筋造)	階数	平屋建て

2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は更新
説明	年間3,500人以上の利用があり、築42年であることから、老朽化が進行しており、存続又は建替えを検討する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

平成19年度に屋根及び外壁の塗装工事を実施したが、外壁、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。電気設備・給水設備・排水設備は、更新されておらず、耐用年数を超過している設備もあり、機能性の低下が生じている。そのため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

町民の武道の振興を図り、心身の健全な発達に寄与するため昭和53年度に建設された。主に中学校の部活動、少年団活動等の練習や大会に利用されていて、今後も利用が見込まれている。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、電気、給排水等の設備維持補修を優先とする。建替えの場合は、町の公共施設等総合管理計画に基づき、複合化、集約化、既存施設の廃止を含む統廃合等を伴うこととされているため、準じた施設改築が求められる。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	4,540	4,053	3,540	

※令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	29	29	19	
運用コスト	120	206	170	
修繕コスト	238	604		
その他				
合計	387	839	189	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	0	0	0	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	室内ゲートボール場	延床面積	691㎡
所在地	長沼町東6線北4番地	建築年度	昭和63年度
構造種別	S造(鉄筋造)	階数	平屋建て

2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続
説明	年間1,700人以上の利用があり、築32年であることから、当面、現施設を維持する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

平成30年度に強風により屋根が破損したため補修工事を実施したが、外壁、内部仕上げには部分的に劣化が見られる。電気設備・給水設備・排水設備は、更新されておらず、耐用年数を超過している設備もあり、機能性の低下が生じている。そのため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

町民の健康増進とゲートボールの普及振興及び健全なスポーツ、レクリエーション活動の利用に供するため昭和63年度に建設された。主に町内外の愛好家の練習や大会に利用されていて、今後も利用が見込まれている。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、電気、給排水等の設備維持補修を優先とする。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	2,245	1,612	1,766	

※平成30年度は屋根の補修工事、令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	354	354	276	
運用コスト	476	668	831	
修繕コスト	60	6,067		
その他				
合計	890	7,089	1,107	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	42	36	33	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	中央長沼水泳プール	延床面積	1,086㎡
所在地	長沼町宮下1丁目1番2号	建築年度	平成18年度
構造種別	C B造・S造	階数	平屋建て

2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続
説明	年間7,000人以上の利用があり、築14年があることから、当面、現施設を維持する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

築14年が経過しており、外壁、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。電気設備・給水設備・排水設備は、更新されておらず、耐用年数を超過している設備もあり、機能性の低下が生じている。そのため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

町民の体位向上及び水泳の普及振興を図るため、平成18年度に建設された。主に小学生の水泳学習、少年団活動の練習や大会、地域住民に利用されていて、今後も利用が見込まれている。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、電気、給排水等の設備維持補修を優先とする。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	8,825	7,739	7,457	

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	4,595	4,751	4,863	
運用コスト	3,041	3,449	3,115	
修繕コスト	67	312	211	
その他				
合計	7,703	8,512	8,189	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	459	433	408	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	北長沼水泳プール	延床面積	830㎡
所在地	長沼町東2線北15番地	建築年度	昭和43年度
構造種別	C B造・S造	階数	平屋建て

2 計画期間内の施設の方針等

方針	廃止
説明	小学校統合により利用が少なくなることや維持管理費が増加しているため、廃止を検討する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

改築後26年が経過しており、外壁、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。電気設備・給水設備・排水設備は、更新されておらず、耐用年数を超過している設備もあり、機能性の低下が生じている。そのため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

町民の体位向上及び水泳の普及振興を図るため、昭和43年度に建設され、平成6年度に改築。主に小学生、保育園児の水泳学習、地域住民が利用していた。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、電気、給排水等の設備維持補修を優先とするが、廃止についても検討する。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	752	123	626	

※平成30年度は、濾過ポンプ故障のため一時閉鎖。

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	1,688	1,745	1,786	
運用コスト	1,230	1,394	1,259	
修繕コスト	619	1,669	81	
その他				
合計	3,537	4,808	3,126	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	25	8	13	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	南長沼水泳プール	延床面積	830㎡
所在地	長沼町東4線南6番地	建築年度	昭和44年度
構造種別	C B造・S造	階数	平屋建て

2 計画期間内の施設の方針等

方針	廃止
説明	小学校統合により利用がすくなることや維持管理費が増加しているため、廃止を検討する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

改築後24年が経過しており、外壁、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。電気設備・給水設備・排水設備は、更新されておらず、耐用年数を超過している設備もあり、機能性の低下が生じている。そのため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

町民の体位向上及び水泳の普及振興を図るため、昭和44年度に建設され、平成8年度に改築。主に小学生、保育園児の水泳学習、地域住民が利用していた。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、電気、給排水等の設備維持補修を優先とするが、廃止についても検討する。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	1,285	1,349	1,440	

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	1,688	1,745	1,786	
運用コスト	1,230	1,394	1,259	
修繕コスト	107	351	124	
その他				
合計	3,025	3,490	3,169	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	40	27	23	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	長沼舞鶴水泳プール	延床面積	500㎡
所在地	長沼町東5線南12番地	建築年度	平成2年度
構造種別	C B造・S造	階数	平屋建て

2 計画期間内の施設の方針等

方針	廃止
説明	小学校及び学童保育の水泳学習の利用が主で、小学校統合により利用が少なくなることや維持管理費が増加しているため、廃止を検討する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

築30年が経過しており、外壁、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。電気設備・給水設備・排水設備は、更新されておらず、耐用年数を超過している設備もあり、機能性の低下が生じている。そのため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

町民の体位向上及び水泳の普及振興を図るため、平成2年度に建設された。主に小学生の水泳学習、地域住民が利用していた。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、電気、給排水等の設備維持補修を優先とするが、廃止についても検討する。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	197	220	264	

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	1,407	1,455	1,491	
運用コスト	971	1,101	995	
修繕コスト	63	32		
その他				
合計	2,441	2,588	2,486	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	1	1	1	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	舞鶴スポーツ公園	敷地面積	26,442㎡
所在地	長沼町東3線南12番地	建築年度	平成10年度
構造種別		階数	

2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は廃止
説明	野球場・広場の利用はなく、パークゴルフ場は無料開放で利用はあるが収入はなく、維持管理費が増加している。存続又は廃止を検討する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

築22年が経過しており、管理棟、倉庫、駐車場、外構等の劣化が見られる。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

町民の心身の健全なる発達とスポーツ活動の普及振興を図るため、スポーツ公園として、野球場・パークゴルフ場・広場等を平成10年度に建設された。当初は、地域振興として利用があったが、近年、パークゴルフ場以外の利用はない。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修に係る優先順位は、付帯する施設の維持補修、芝の維持管理等を優先とする。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	不明	不明	不明	

※平成28年度から無料開放のため利用者数は把握できないので不明である。

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	5,481	4,636	4,523	
運用コスト	280	238	269	
修繕コスト	652	445	157	
その他				
合計	6,413	5,319	4,949	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	0	0	0	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	運動広場	敷地面積	70,932㎡
所在地	長沼町南町1丁目2番	建築年度	昭和60年度
構造種別		階数	

2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続
説明	野球場・パークゴルフ場・多目的広場・テニスコート・ジョキングコース等の利用が、年間約20,000人以上の利用があり、当面、現施設を維持する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

築35年が経過しており、野球場・多目的広場のバックネットは平成29年度に台風により破損して改修工事を実施。他の付帯施設は劣化が見られる。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

町民の心身の健全なる発達とスポーツ活動の普及振興を図るため、昭和60年度に建設された。主に野球・テニス・パークゴルフ・サッカー・ゲートボール等の練習や大会に利用されていて、今後も多くの利用が見込まれている。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、付帯する施設の維持補修、芝の維持管理等を優先とする。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	22,259	24,129	20,649	

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	9,178	8,206	8,163	
運用コスト	591	818	346	
修繕コスト	1,335		24	
その他				
合計	11,104	9,028	8,533	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	1,937	1,643	1,843	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	総合公園（多目的広場・パークゴルフ場）	敷地面積	47,600㎡
所在地	長沼町南町2丁目1番	建築年度	平成17年度
構造種別		階数	

2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続
説明	パークゴルフ場・多目的広場・ランニングコース等の利用が、年間約22,000人以上の利用があり、当面、現施設を維持する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

築15年が経過しており、付帯施設は劣化が見られる。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

町民の心身の健全なる発達とスポーツ活動の普及振興を図るため、平成17年度に建設された。主にパークゴルフ・サッカー等の練習や大会に利用されていて、今後も多くの利用が見込まれている。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、付帯する施設の維持補修、芝の維持管理等を優先とする。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	24,999	23,044	22,514	

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	13,903	14,482	14,349	
運用コスト	588	392	418	
修繕コスト	129	140	1,099	
その他				
合計	14,620	15,014	15,866	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	2,190	1,832	2,033	

個別施設計画シート

1 施設の概要

施設名	北長沼スキー場	ゲレンデ面積	145,000㎡
所在地	長沼町東6線北11番地, 北12番地	建築年度	昭和47年度
構造種別		階数	

2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続
説明	リフト搬送人数が年間426,000人以上の利用があり、当面、現施設を維持する。

3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

第1リフト・第1ロッジは、昭和54年度に建設、築41年が経過。第2ペアリフト・第2ロッジは、昭和59年度に建設、築36年が経過。第3ペアリフトは、平成6年度に建設、築26年が経過。夜間照明6基は、平成元年度に建設、築31年が経過。それぞれのリフト、ロッジ等は老朽化が進んで維持管理費が増加している。

4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

町民のスポーツの振興を図り、心身の健全な発達と社会文化の発展に寄与するため、昭和47年度に建設された。スキー場があるのが、隣接4町では長沼町の1箇所だけとなり、学校のスキー授業等で町内外から多くの利用があり、今後も多くの利用が見込まれている。

5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、付帯する施設・設備の維持補修を優先とする。

6 施設利用需要

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用者数	422,116	479,875	390,994	

7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
保守コスト	24,110	23,782	22,891	
運用コスト	11,475	12,551	13,538	
修繕コスト	5,256	3,033	4,176	
その他	100	100	26	
合計	40,941	39,466	40,631	

収入	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
利用料等	27,228	29,632	28,060	